

# 所有詞の用法について

簡単な様で奥が深いのがスペイン語の文法です。今日はその一例として所有詞を取り上げます。

- A) 短縮形 (mi, tu, su, ...) : =前置形, =弱勢形  
 B) 完全形 (mío, tuyo, suyo,...) : =後置形, =強勢形

## (A) 短縮形

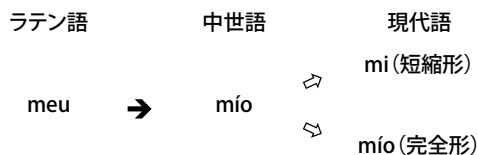
	単数	複数
1人称	mi (私の)	nuestro (私の)
2人称	tu (君の)	vuestro (君たちの)
3人称	su (彼[ら]の、彼女[ら]の、あなた[がた]の)	

## (B) 完全形

	単数	複数
1人称	mío (私の)	nuestro (私の)
2人称	tuyo (君の)	vuestro (君たちの)
3人称	suyo (彼[ら]の、彼女[ら]の、あなた[がた]の)	

これには修飾する名詞の性数に応じて、mi, tu, suには単複の2通り、nuestro, vuestroには単複と男女の4通りの変化があります。

現在のスペイン語では、短縮形と完全形がありますが、元々は同じものです。例えば、「私の～」は次のように変化しました。



つまり中世では完全形しかなく、名詞の前で語尾が脱落したのが現代語の短縮形です。元々の完全形も現代語に残っているので、結果的に二系列が存在するわけです (nuestro, vuestroは区別なし)。所有詞にはこの「完全形」/「短縮形」以外の用語も使われます。みなさんの習った教科書によって違いがありますので、ここで整理しておきましょう。

初学者からよくある質問に、「どうして所有詞は人称代名詞ではないのですか?」があります。英語では、I – my – me, you – your – youなどと習ったのに、どうしてスペイン語では、yo – mi – meとは言わないのでしょうか。スペイン語はラテン語から派生していますが、ラテン語では人称代名詞の所有を表す形(属格と言います)とは別に、所有形容詞があり、こちらがスペイン語に引き継がれたからです。もちろん、所有詞を代名詞に含めている教科書も少ないながらあります(下の表を参照)。

さて、次に所有詞の意味ですが、一言で「所有」と言っても細かく考えるといろんなケースがあります。例えば、mis fotos「私の写真」は、「私の所有する写真」、「私が撮った写真」、「私が写っている写真」のいずれにもなります。結局は文脈とか状況次第ですね。

スペイン語の所有詞前置形は、定冠詞や不定冠詞と一緒に使えないという特徴があります(親戚に当たるイタリア語やカタルーニャ語では使えるのに!)。つまり、mi libroであってel mi libro, un mi libroとは言えないのです。

次もよくある質問ですが、「私の友達」と言いたいとき、mi amigoですか、un amigo míoですか、というものがあります。これらは厳密に言うとき少し意味が違います。わかりやすくするために相当する英語の表現とも比べてみましょう。

- A) mi amigo (=my friend)  
 B) un amigo mío (=a friend of mine)

どちらも「私の友達」ですが、A)の場合、話し相手が既に知っている場合や、友達が一人しかいない感じを受ける場合があります。B)は「私の友人の一人」となり、複数の友人がいるが、その中の一人」というニュアンスになります。ただし、文脈によりますので、あまり固定的に考えない方がよさそうです。

## 人称代名詞一覧(所有詞を含む)

		主語	所有		目的		前置詞用	
			短縮形	完全形	間接	直接		
単数	1人称	yo	mi, mis	mío, míos, mía, mías	me		mí	
	2人称	tú	tu, tus	tuyo, tuyos, tuya, tuyas	te		ti	
	3人称	男性	él	su, sus	suyo, suyos, suya, suyas	le (se)	lo	él
		女性	ella				la	ella
中性		ello	lo				ello	
複数	1人称	nosotros, nosotras	nuestro, nuestros, nuestra, nuestras		nos		nosotros, nosotras	
	2人称	vosotros, vosotras	vuestro, vuestros, vuestra, vuestras		os		vosotros, vosotras	
	3人称	男性	ellos	su, sus	suyo, suyos, suya, suyas	les (se)	los	ellos
		女性	ellas				las	ellas

注:単純化のために再帰動詞seは省いています。

とにかく前置形は意味的に定冠詞のように「限定」を含んでいるということです。その証拠として、《hay ~》の文では使えません。

× Aquí hay **mis** fotos.

○ Aquí hay fotos **mías**.

ところで、「~の」と所有を表す表現には所有詞以外に《de ~》があります。例えば、

No tengo noticias **de tí** = No tengo noticias **tuyas**.

私は君のニュースがない。

たまに前置形と《de~》の両方を使っている表現があります。例えば、

Ayer pasé por **su** casa **de usted**, pero no estaba.

昨日あなたの家に立ち寄ったが、いなかった。

この二重所有はスペインではあまり使いませんが、ラテンアメリカではよくあります。

ところで、《場所の副詞 de~》で、《de~》の代わりに所有詞を使うことがあります。例えば、

¿Hay alguien escondido **detrás de él**.

誰か彼の後ろに隠れている？

¿Hay alguien escondido **detrás suyo**. (同上)

他に《delante de~》、《encima de~》なども同様ですが、ラテンアメリカでは許容されますが、スペインでは正しくないと考える人が多いようです。

また、前置形のsuは身分の高い人に対する敬称表現で使われます。

**su majestad** (あなたの威厳) → 「陛下」(国王などに対して)

**su alteza** (あなたの崇高さ) → 「殿下」(王子などに対して)

**su santidad** (あなたの神聖さ) → 「陛下」(ローマ教皇などに対して)

最後に所有詞の慣用表現をいくつか覚えましょう。

Ella siempre se sale con la **suya**. 彼女はいつも我意を通す。

Carmen es muy **suya**. カルメンはとても自分勝手だ。

los **míos**, los **tuyos**, los **suyos**は、「家族」、「味方」などの意味で使われます。

Saludos a los **tuyos**. 君の家族によろしく。

Sé manejar el ordenador, pero no puedo repararlo porque no es lo **mío**.

私はパソコンが使えるが、修理はできない。専門外なので。

最後の例では、lo **mío**「私のもの」→「私の専門、得意なこと」ということです。

それでは今回はこれくらいで。¡Hasta la vista!

仲井邦佳



仲井 邦佳

なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。

京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。

著書に『コミュニケーションのためのスペイン語』(共著、第三書房)、『中級スペイン語一文法と演習一』(共著、同文社)などがある。

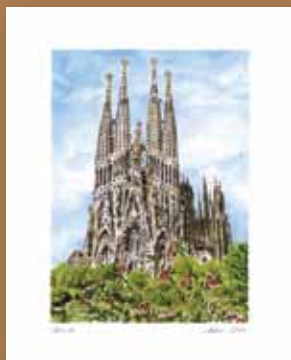
# 絵画ポスター

サイズ：29.6 X 23.9 cm

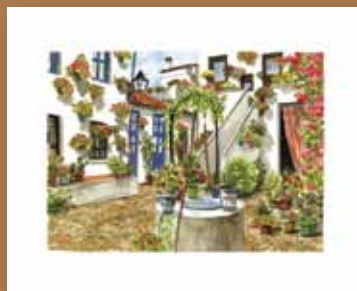
価格：各1,260円

www.  
adelante  
shop.jp

1



2



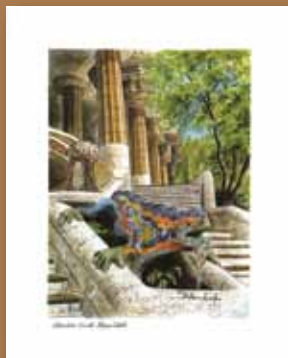
3



4



5



6



1. バルセロナ・サグラダ・ファミリア 2. アンダルシア地方・パティオ  
3. マドリッド・メトロポリスビル 4. ひまわり畑  
5. バルセロナ・グエル公園 6. マドリッド・マヨール広場

【お問合せ・ご注文は】 有限会社 ADELANTE  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館 2F  
TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122  
E-MAIL: info@adelanteshop.jp